

1. LGBT等の性的少数者について

☑️セクシュアリティとは？

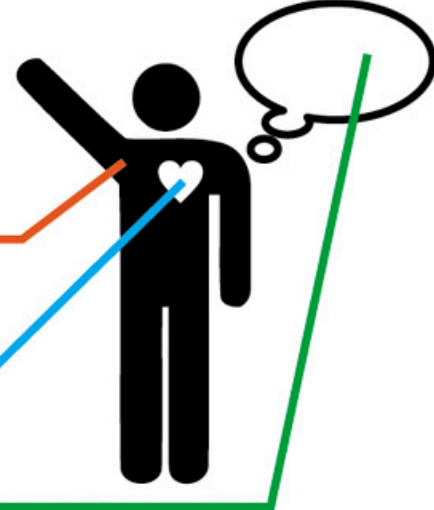
セクシュアリティとは、性のあり方のことをいい、<からだの性><こころの性><好きになる性>の3つの要素があると考えられています。

☑️セクシュアリティの多様性

<からだの性：生物学的性>
性染色体・外性器・内性器の状態などから決定される性。

<こころの性：性自認>
自分の性別をどう認識しているかを表す性。

<好きになる性：性的指向>
どの性別を恋愛の対象とするかを表す性。



☑️LGBTとは？

LGBTとは、性のあり方が少数派の人々のうち、「レズビアン」・「ゲイ」・「バイセクシュアル」・「トランスジェンダー」の4つの頭文字をあわせた言葉です。

そうした性のあり方が少数派の人々を広く表す総称として、性的少数者（セクシュアルマイノリティ）と呼ぶこともあります。

本書では、「LGBT」という言葉を総称として、便宜上用いています。

L レズビアン	<こころの性>が女性の方が、同じく<こころの性>が女性の人を好きになること（同性愛）、またその人。	性的指向
G ゲイ	<こころの性>が男性の方が、同じく<こころの性>が男性の人を好きになること（同性愛）、またその人。	
B バイセクシュアル	男性も女性も好きになること（両性愛）、またその人。	
T トランスジェンダー	<からだの性>と<こころの性>が一致しない状態や、どちらの性別にも違和感を持つ状態のこと、またその人。	性自認
<トランスジェンダーの一例> MtF(Male to Female)：出生時の<からだの性>が男性で、<こころの性>が女性の人。 FtM(Female to Male)：出生時の<からだの性>が女性で、<こころの性>が男性の人。		

▼メモ

「性同一性障害」は、<からだの性>と<こころの性>の不一致に継続的な違和感を持ち、時には<からだの性>を<こころの性>に近づけるための医療を望むこともある状態を指す、医学的な診断名です。

セクシュアリティは「男」と「女」だけに分けることはできず多様化しており、LGBTのほかにも、

アセクシュアル	無性愛：いかなる他者も恋愛や性愛の対象とならない人。
クエスチョニング	セクシュアリティをあえて決めない、または決められない・分からない状態、またその人。

などがあります。

<こころの性><好きになる性>は、医学的な治療によって変えることはできません。また、自分の意思で変えられるものでもないと考えられています。

民間の調査では、20～59歳までの約8%がLGBT等の性的少数者であるというデータがあります。
(出典：平成28年 LGBT 総合研究所調べ)



このデータによると、
約13人に1人の割合でLGBTの人がいることになります。

これは、日本の多い名字のトップ6である、佐藤さん、鈴木さん、高橋さん、田中さん、渡辺さん、伊藤さんの合計人口の割合より多いと推測されます。

しかし、これだけのLGBTの人がいると推測されるのに、実感としてそう感じなかったり、LGBTの人に会ったことがないという人がいるのはなぜでしょうか。

LGBTの人は外見からは分からない人もおり、また、いじめや差別等が存在するため、カミングアウト*をせずに生活している人も多いことから、周囲の人がLGBTの人を認識できていないためです。

*自身のセクシュアリティを他者に伝えること